

# 結果報告□1月Web教えてモニター「よく使う日本茶の茶葉」

## 【テーマ・商品】

よく使う日本茶の茶葉

## 【モニター目的】

家庭でよく使われている日本茶 茶葉の銘柄、価格帯や使用頻度、量目などの情報を集め、商品企画や開発・品揃えに活かす。

【回答期間】 1/15～1/25

【回答者数】 389名

## ■概要

■茶葉を使って日本茶をいれる方…78.6%(子育て55.2%、ファミリー74.0%、シニア84.6%、シルバー96.6%)

■日本茶を飲む頻度…①1日2～4回(45.6%)②1日5～9回(29.1%)③1日1回(10.1%)

9割の方が1日1回以上、日本茶を飲む。年代が上がるほど飲む頻度は増える傾向。

■冬に使う茶葉…①煎茶②ほうじ茶③玄米茶④麦茶一の順。年代が上がるほど煎茶の比率が高まり、ほうじ茶が減る傾向。子育て層はほうじ茶を最もよく飲み、麦茶の比率も高い。

■夏に使う茶葉…①麦茶②煎茶③ほうじ茶④玄米茶一の順。年代が下がるほど麦茶の比率が高まる。

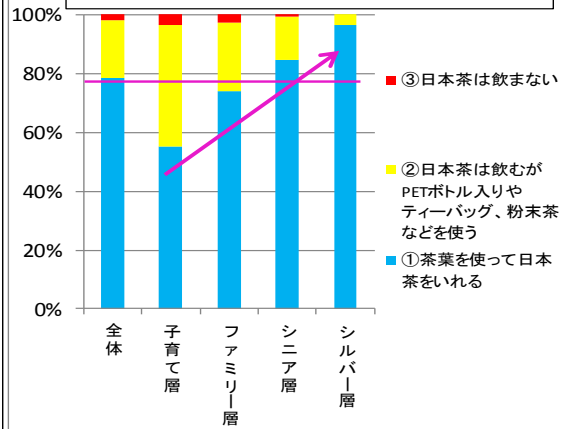
■春・秋に使う茶葉…①煎茶②ほうじ茶③麦茶④玄米茶一の順。春と秋の比率が似ているが、春は煎茶、秋は麦茶がやや多い。秋は子育て・ファミリー層で特に麦茶の比率が高い。

■茶葉の購入先…①スーパー②生協の宅配③お茶専門店④百貨店一の順。子育て層はスーパーやお茶専門店で、ファミリー～シルバー層はスーパーや生協の宅配でよく購入する。

■購入のさいに重視する点…全世代ともに「価格」「香り」「うま味」の3点を重視。「渋み」や「苦味」などはほとんど重視されない。

■意見・要望…農薬をできるだけ使わない茶葉を望む方が目立つ。注ぐお湯の温度や味の特徴を明示するように望む声も多い。

世代別 茶葉を使って日本茶をいれる比率



## ■組合員の声

- ・生協の茶葉の取り扱い量をもっと増やしてほしい。いろんなメーカーの物を取り揃えてほしい。
- ・ちいさなかわいいパックで 産地や時期ごと もっとかわいいなまえ意匠をつけてお手頃価格で販売すべき。まずは年少者に習慣づけを。
- ・商品を見ても違いがわからない。茶葉のランク、渋み・苦味の強さなど、ワインに表示されているようなものが記されていたら、買う参考になっていいと思う。
- ・日本茶は、種類によって、お湯の温度が変わるので、この茶葉は、この温度で！とわかると美味しく頂けるのになあと感じます。
- ・産地ごとの特徴・味の違いなど、またカタログのすみにも紹介していただくと嬉しいです。とても興味あるので…